

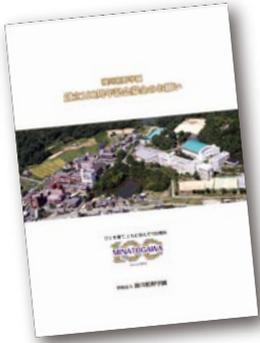
# 湊川相野学園 15 ニュース No.

ひとを育て、ともに歩んで100周年



発行:2016年2月  
湊川相野学園理事長室会

## 湊川相野学園創立100周年 「募金活動が本格的に活動開始しました。」



「湊川相野学園創立100周年記念募金のお願い」のパンフレット・関係書類が学園関係者に送付されました。昨年より準備を進めてまいりました募金の受け入れ態勢が整い、関係各位への案内が行われました。この募金はこれまでの奨学金制度を後押しをすることや学園設備の充実を図るために使用され、個人一口1万円、法人一口10万円にてお願いしています。詳しくは学園ホームページにてご確認ください。インターネットやスマホからも受け入れられ、カード決済もセキュリティーのしっかりしたシステムを導入しています。また、寄付に対しての税額控除のお知らせも掲載していますので、ご覧下さい。



## 「三田松聖高等学校が 市社会福祉大会において表彰を受けました。」

三田松聖高等学校が、1月24日、三田市社会福祉協議会主催の「市社会福祉大会」において表彰を受けました。学校全体で実施している赤い羽募金活動に



に加え、インターアクトクラブが10年前より取り組んでいる街頭募金活動が地域福祉の向上に貢献したと高く評価されました。同部は、地域子育て支援センターや市中央公園伐採作のボランティアとしても活躍しています。これからの社会は地域社会の支え合いがますます必要な環境へと変化しています。当校の生徒たちが、人や環境に優しい気持ちを育んでくれることを願っています。



## 「松聖高校にサッカー審判の資格を 持っている生徒が居るのをご存知ですか？」



3年生足立正輝(あだちまさき)君は、兵庫県サッカー協会所属の2級審判員です。スポーツ家族に囲まれ、幼稚園の頃からサッカー一筋に練習してきました。(現在も松聖サッカー部でボランチをしています。)中学の時、ふとしたきっかけで審判に興味を持ち、高校2年で実技・筆記試験をクリアして審判資格を取得しました。多くの試合の審判を務め、その技術が認められ昨年11月8日、平成27年度兵庫県高校サッカー選手権大会決勝の副審を任せられ、見事その大役を全うしました。試合ではフィールド全体を見ながら7~8キロ走るの、公平な判断力と選手にも優る体力が必要です。ちなみに、審判をしていて一番嬉しいときはと聞くと、試合が終わり両方の選手から「ありがとう」と言ってもらえることでした。真面目で明るいスポーツマンの彼が、プロの試合で審判を務める日が来るのが楽しみです。

三田松聖高等学校2年生が1月17日(A班)18日(B班)の両日、ハワイへの修学旅行に出発しました。パールハーバーやポリネシアンカルチャーセンターを見学し、グループでの自由行動の時間にはアラモナショッピングセンターで買い物等を楽しみ21日・22日に全員元気に帰国しました。高校生活の素敵な思い出となったことでしょうか。ツアーの様子はホームページからご覧いただけます。